

## 1 自己評価及び外部評価結果

作成日 令和 7年 4月 30日

### 【事業所概要（事業所記入）】

事業所番号	3491700146		
法人名	有限会社アドバンス		
事業所名	ふれあいの家		
所在地	広島県府中市中須町1412-1 (電話) 0847-47-1006		
自己評価作成日	令和7年2月6日	評価結果市町受理日	令和7年 5月8日

※ 事業所の基本情報は、介護サービス情報の公表制度のホームページで閲覧してください。

基本情報リンク先URL	<a href="http://www.hiroshima-fukushi.net/kohyo/index.html">http://www.hiroshima-fukushi.net/kohyo/index.html</a>
-------------	---

### 【評価機関概要（評価機関記入）】

評価機関名	一般社団法人福祉キャリアセンター
所在地	広島市中区吉島東一丁目22番2号
訪問調査日	令和7年 4月23日

### 【事業所が特に力を入れている点、アピールしたい点（事業所記入）】

<p>事業所コンセプトとして</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・当たり前の暮らしを取り戻し、夢を実現できる場所。</li> <li>・生きること自体を楽しめる場所。</li> <li>・誰でも立ち寄れる町の駅。</li> </ul> <p>に力を入れています。入所者一人ひとりの今までの生活、こだわり、その人自身を知り、それをそのまま施設で行っていく。その中で思い出の場所や居場所、日々の役割を持ち楽しんで生活していただくこと。また諦めていた夢ややってみたかったけどできなかったことに職員と挑戦し、夢を実現し人生をもう一度楽しんでいただくことを大切にしています。</p>
--

### 【外部評価で確認した事業所の優れている点・工夫点（評価機関記入）】

<p>閑静な住宅地で周囲に病院やお寺などがあり落ち着いた場所に立地している。敷地内には畑や花壇があり安らぎを感じられる庭となっている。食事作りでは利用者が調理担当としての役割を持ち、得意なことや好きなことを活かせる環境づくりが行われている。日々の生活で、あきらめていたグランドゴルフを再び始められるよう環境を整え利用者が再チャレンジができる体制がとられる。利用者が望む生活の継続を支援するため、一人ひとりを理解し統一した支援が行われている。地域の町内会との交流や地域の子どもの施設への訪問が多く行われており、利用者が地域の一員として共に過ごせる時間を大切にしている。医療の協力体制は、ユニットごとに異なる協力医が担当しており、施設に看護師も配置されているため緊急時にはすぐに対応できる体制が整えられており、家族も安心感を感じることができている。</p>
--

自己評価	外部評価	項目(南 ユニット) 上記項目欄の( )内へユニット名を記入願います	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
I 理念に基づく運営					
1	1	○理念の共有と実践  地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている。	全従業員に理念の冊子を配布。 毎朝、朝礼にて唱和し共有している。	職員全員が理念の冊子を所持しており、毎朝の朝礼で唱和をしている。あわせて理念の項目を1つずつ当日の担当の職員が読み上げ、内容についての感想や意見を述べるなどして、理解を深める取り組みを行っている。	
2	2	○事業所と地域とのつきあい  利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している。	地域の清掃、見守り隊などの活動へ参加している。 地域の行事に参加している。	グランドゴルフや地域の清掃などの地域の行事に参加している。子ども会との交流も年に3回行われ、保護者や子どもたちが施設を訪問している。町内会長の運営推進会議への出席も多く、地域とのつながりが構築されている。	
3		○事業所の力を活かした地域貢献  事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている。	運営推進会議での話し合い。 子ども会との交流イベントを開催し、利用者と交流している。 子供110番の家になり子供の安全、保護できる環境にある。		
4	3	○運営推進会議を活かした取り組み  運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている。	2か月に1回開催し、情報共有を行っている。 入居状況、活動状況報告、身体拘束廃止委員会、施設、活動に関する意見など、意見交換も行う。	2か月に1回開催されており、活動状況の報告や各種委員会の報告を行っている。地域や行政、家族からの意見も多く受けることができおり、家族の意見を反映した取り組みも行われている。	
5	4	○市町との連携  市町担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実績やケアサービスの取組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取組んでいる。	苦情などの情報に対しての報告を行っている。 運営についての相談も担当者と随時行っている。	家族からの苦情の報告や運営の相談を随時行っている。困りごとの相談は、管理者から上長へ報告し、地域包括支援センターに繋げる体制を整えている。行政が実施する研修への参加もオンライン等で参加している。	

自己評価	外部評価	項目(南 ユニット) 上記項目欄の( )内へユニット名を記入願います	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
6	5	○身体拘束をしないケアの実践  代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる。	本人の身体と心の制限を行わないことを徹底し、玄関の施錠はもとより、薬による心の制限も行わないよう取り組んでいる。 身体拘束について講義を受けている。 玄関の施錠はしないが、窓から出て離脱される方について窓の開閉を制限させてもらうため外鍵にて全開にならない様になっている居室がある。居室への出入りの扉には施錠はなく自由に出入り出来る環境にある。運営推進会議で介護保険課からの出席者に報告している。	身体拘束廃止の研修は、オンラインでの個別研修と全体研修を年2回実施している。安全対策を講じたうえで玄関の施錠は行われておらず、いつでもドアを開けることができる。居室の窓も開き幅の制限は設けているが、いつでも窓を開けられる環境となっている。利用者の心身の制限を行わない方針を職員全体で理解し、安全確保に努めている。	
7		○虐待の防止の徹底  管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている。	定期的に勉強会を行っている(合同勉強会+施設の研修計画によるweb学習)。 委員会を設置し、2か月に1回は検討を行っている。		
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用  管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している。	施設の研修計画によるweb学習を職員の経験に応じて実施している。 また、必要に応じて外部研修へ参加している。		
9		契約に関する説明と納得  契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている。	十分に説明し、納得していただけるように努めている。		
10	6	○運営に関する利用者、家族等意見の反映  利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている。	担当者から日ごろの様子を書面や電話で伝え、利用者や家族の思いを共有できるよう努めている。	担当者から日頃の様子を書面や電話で報告しているが、家族から事故の報告について個別の報告だけでなく施設全体での事故の発生状況と対応を知りたいとの意見があり、全体の事故報告を行っている。サービス担当者会議などで家族の意見を受けているが、今年度は家族会を開催し報告だけでなく家族同士の意見の交流、親交を深めるようにしていく予定。	

自己評価	外部評価	項目(南 ユニット) 上記項目欄の( )内へユニット名を記入願います	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
11	7	○運営に関する職員意見の反映  代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている。	定期的にミーティングを行い、話し合う場を設けている。 不定期で個別面談の機会を持っている。	個別面談や定期ミーティングを行い、職員の意見を聴く機会を設けている。職員間での相談もしやすく、職員から管理者への依頼や意見も伝えやすい関係ができており、職員からの企画や意見をすぐに実現できるような体制となっている。	
12		○就業環境の整備  代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている。	個人個人との面談の場や、頑張っている人が評価される仕組みづくりを行っている。 あしたのクラウドを利用し、目に見える形で評価される仕組み作りを行っている。		
13		○職員を育てる取組み  代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている。	施設の研修計画による定期的な研修を経験と役職に応じて実施している。 新人に対する研修を行っている。		
14		○同業者との交流を通じた向上  代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取組みをしている。	職能団体への入会を推奨し(資格手当増額)、開催される研修や交流会への参加を促している。		
II 安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
15		○初期に築く本人との信頼関係  サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている。	インテークの段階から要望や思いを聞き、それが実現できるように努めている。		

自己評価	外部評価	項目(南 ユニット) 上記項目欄の( )内へユニット名を記入願います	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
16		○初期に築く家族等との信頼関係  サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている。	入居相談の段階から思いや要望を聞きながら信頼関係づくりに努めている。		
17		○初期対応の見極めと支援  サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている。	入居相談を受けている段階で、他のサービス等を利用することで在宅生活が行えそうであれば提案している。(入居後も同様)。		
18		○本人と共に過ごし支えあう関係  職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている。	人と人として学びあいながらお互いが成長できる関係を築けるように努めている。		
19		○本人を共に支えあう家族との関係  職員は、家族を支援される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている。	家族とも情報共有し、時には食卓を囲んだり、一緒に出掛けたり、共に支えあっている関係性を目指している。		
20	8	○馴染みの人や場との関係継続の支援  本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている。	友人や馴染みの人に会いに行くなど、それまでの関係が当たり前につながるような活動を行っている。	家族だけでなく友人の面会もある。利用者が友人と一緒に外出して習い事や食事をするなど、なじみの関係が継続できている。一緒に外出する家族や友人からの不安に対しても職員が助言を行うなど安心してもらっている。	

自己評価	外部評価	項目(南 ユニット) 上記項目欄の( )内へユニット名を記入願います	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
21		○利用者同士の関係の支援  利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている。	日々の暮らしの中でその人にとっての役割を持って生活をしながらお互いさまの関係が築けるように努めている。		
22		○関係を断ち切らない取組み  サービス利用(契約)が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている。	他施設へ住み替えた方と交流をするなど、積み上げた関係性が継続できるよう努めている。		
Ⅲ その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
23	9	○思いやりや意向の把握  一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している。	その人のこだわりや大切にしていることなどを本人や家族友人から聞くことで、思いや意向をしっかりと把握するように努めている。	本人や家族・友人から意見や思いを聴き共有している。会話が難しく自分の思いを表出できない利用者に対しては、日々職員が接するなかで、表情やしぐさを見て理解を深め、思いを汲み取るようにしている。	
24		○これまでの暮らしの把握  一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている。	利用者の年表作成や自宅訪問を行い、その人の生活の把握に努めている。		
25		○暮らしの現状の把握  一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている。	日々の暮らしの中でその人にとっての役割や過ごし方、落ち着ける居場所の把握に努めている。		

自己評価	外部評価	項目(南 ユニット) 上記項目欄の( )内へユニット名を記入願います	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
26	10	<p>○チームでつくる介護計画とモニタリング</p> <p>本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している。</p>	<p>管理者、計画作成者、職員、家族、本人と話し合いを行っている。</p>	<p>介護計画の見直しは概ね半年に一度実施している。計画の作成にあたっては、本人・家族・管理者・計画作成者・職員で話し合いを行い、本人が望む生活を共有し、どのようにしたら望む生活に近づけるか工夫をしながら支援を行っている。</p>	
27		<p>○個別の記録と実践への反映</p> <p>日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている。</p>	<p>体調などの管理だけでなく、暮らしの中の気づきや本人の思いなども個人記録に記入し、積極的に共有していく仕組みにしている。</p>	/	
28		<p>○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化</p> <p>本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる。</p>	<p>家族や本人の思いや要望がかなえられるよう、柔軟に対応している。</p>	/	
29		<p>○地域資源との協働</p> <p>一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している。</p>	<p>町内会行事などに参加している。 子供会との合同行事を行っている。</p>	/	
30	11	<p>○かかりつけ医の受診診断</p> <p>受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している。</p>	<p>必要に応じてかかりつけ医に相談し、希望する医療機関への受診を支援している。 家族様に体調について相談し、受診の意向を確認している。 受診後には内容を報告している。</p>	<p>本人・家族の意向に沿ってかかりつけ医の受診を支援している。緊急時の対応をマニュアル化して事務所に設置、夜間は管理者にオンコール、その後往診医に連絡する体制が構築されており、誰でも対応できるようにしている。</p>	

自己評価	外部評価	項目(南 ユニット) 上記項目欄の( )内へユニット名を記入願います	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
31		○看護職員との協働  介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している。	看護職だけではなく、薬剤師、主治医とも連携し支援している。		
32		○入退院時の医療機関との協働  利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。又は、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	入院先のソーシャルワーカーとの連絡をとり、現状の把握と、(早期退院を望む本人と家族の)思いを共有している。退院前カンファレンスに参加し、退院後にスムーズに元の生活に戻るよう支援している。		
33	12	○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援  重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる。	契約時に説明を行っている。 入居後は本人の状態に応じて、都度家族を交えて要望を確認し、どのように関わっていくか検討している。	契約時だけでなく、状況によってその都度本人・家族に確認をとり、その時々に対応をとるようにしている。 職員のメンタル面では職員同士でフォローし合い、その経験を活かしていく流れを作っている。	
34		○急変や事故発生時の備え  利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている。	本人の思いを理解した上で、応急処置や緊急時の連絡体制の確保を行っている。		
35	13	○災害対策  火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている。	避難訓練を行い、避難方法の検討を行っている。	BCPを作成しており、年に2回、日中と夜間の避難訓練を行っている。避難訓練には利用者も参加している。 緊急時はグループ内の他事業所からの支援を得られる体制を整えている。	火災発生時の支援について、地域の方への協力依頼をしていないため、避難場所の確保など連携して災害時対応ができるようにしていく事を期待したい。

自己評価	外部評価	項目(南 ユニット) 上記項目欄の( )内へユニット名を記入願います	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
kotowo					
36	14	○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保  一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている。	一人一人の歩まれてきた人生を知り、その方を知っていくことを大事にし、職員とその方との信頼関係も考えた声掛けを行っている。	1人の利用者に2名の担当職員をが付き、こまかな個別支援を行っている。インテークで得た情報をうのみにせず、関わり合いの中で利用者のことを理解していくよう努めている。	
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援  日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている。	その人が行きたい場所、やりたいことを必ず叶えること、その中で次に繋がる希望や思いを言っていただけのように対応している。		
38		○日々のその人らしい暮らし  職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している。	その人にとっての当たり前の生活を把握するため、年表作成や実際に自宅に行き生活空間を把握しそれに近づけていくような取り組みをしている。		
39		○身だしなみやおしゃれの支援  その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している。	馴染みの店やお気に入りのファッションを聞きとり、実際に買い物に行ったりする中でこだわりなどを知ることができるようにしている。 美容室などは(密にならないように)できるだけ馴染みの店に行くようにしている。 訪問理美容サービスを利用している。		
40	15	○食事を楽しむことのできる支援  食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている。	利用者主体で食事作りを行い、各家庭の味付けを教してもらったり、得意料理を作るなどの取り組みを行っている。 個人個人に合った役割で参加して頂いている。	おにぎりをにぎってもらう、お盆を拭いてもらうなど利用者が食事作りに参加している。きざみ食などにも対応している。食欲があまりない利用者に対しては別メニューを提供する、食事時間をずらすなど個別対応を行っている。	

自己評価	外部評価	項目(南 ユニット) 上記項目欄の( )内へユニット名を記入願います	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
41		○栄養摂取や水分確保の支援  食べる量や栄養バランス, 水分量が一日を通じて確保できるよう, 一人ひとりの状態や力, 習慣に応じた支援をしている。	水分量や食事量の把握はもちろんだが, その日の心身の状態やその方の今までの食事習慣を大事にし, 食べたいもの, 飲みたいものを用意するようにしている。		
42		○口腔内の清潔保持  口の中の汚れや臭いが生じないよう, 毎食後, 一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている。	毎食後, その日の本人の気持ちや状態によって臨機応変に対応している。 訪問歯科を利用し, 定期的に口腔内ケアや治療を行っている。		
43	16	○排泄の自立支援  排泄の失敗やおむつの使用を減らし, 一人ひとりの力や排泄のパターン, 習慣を活かして, トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている。	どんな方でもトイレで気持ちよく排泄ができるよう, 排泄パターンやシグナルを把握し, その方の行きたいタイミングでトイレに行けるよう取り組んでいる。	利用者自身で出来ることはしてもらうよう, 声かけを行っている。なぜ利用者がそのような行動をとられるのかを家族を含め検討し, 利用者寄り添った支援を行えるよう努めている。	
44		○便秘の予防と対応  便秘の原因や及ぼす影響を理解し, 飲食物の工夫や運動への働きかけ等, 個々に応じた予防に取り組んでいる。	安易に薬に頼らず, 自然排便ができるよう食事メニューの検討や個別での対応を行っている。		
45	17	○入浴を楽しむことができる支援  一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように, 職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに, 個々に応じた入浴の支援をしている。	本人の入りたいタイミングで気持ちよく入っていただけるように, 入る日や回数を固定せず, 本人に希望を聞きながら入浴している。	1日に3回入浴されたい利用者には3回入ってもらう, 時間を固定せず, 入りたい時に入ってもらうなど, 本人のタイミングに合わせて入浴できるよう支援を行っている。	

自己評価	外部評価	項目(南 ユニット) 上記項目欄の( )内へユニット名を記入願います	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
46		○安眠や休息の支援  一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している。	その方の体調や気分によって休んでいただいている。その方が寝たいタイミングで寝られるよう、職員目線で誘導しないようマニュアルや研修で周知している。		
47		○服薬支援  一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている。	薬の目的や副作用はもちろん、その都度、家族、本人、主治医、薬剤師と相談し変更や中止をしている。		
48		○役割、楽しみごとの支援  張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている。	その方のことを深く知り、その中で特技や好きなことを自信をもってやっていただけるよう取り組んでいる。		
49	18	○日常的な外出支援  一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している。	いつでも外に出られるよう、原則玄関のカギはしていない。本人の気持ちを大切に、出たいときに外に出られるようにしている。	習い事を続ける、家族と外食に出かける、美容院に行くなど、利用者の希望に沿った外出を支援している。玄関から出かけようとする利用者には否定するのではなく、一緒に庭に行くなど、寄り添った支援を行っている。	
50		○お金の所持や使うことの支援  職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している。	個人の買い物の際、自身で行いたい方は支払いをご自身でできるようにしている。		

自己評価	外部評価	項目(南 ユニット) 上記項目欄の( )内へユニット名を記入願います	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
51		○電話や手紙の支援  家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている。	電話はいつでもできるよう対応している。 手紙を書きたい希望があれば、便箋を一緒に買いに行くところから行っている。		
52	19	○居心地の良い共用空間づくり  共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激（音、光、色、広さ、温度など）がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている。	毎日清掃を行い、その都度環境を確認し落ち着ける環境作りに務めている。 使い易いようにソファなどレイアウトを変更している。 玄関に季節の花を飾ったり、庭に季節の花を植えたりして、花を摘みに行ったりしている。	利用者の状態や利用目的に沿った家具選び、レイアウトを行っている。庭に咲いた花を飾るなど季節感を大切にしている。浴室、トイレなどでは持ちやすい手すりを設置するなど工夫をしている。	
53		○共用空間における一人ひとりの居場所づくり  共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている。	趣味部屋や和室、畑や花壇など様々な居場所があり、思い思いに過ごせるようにしている。 一人一人の落ち着ける空間、暗い場所や明るい場所、狭い場所や広い場所等職員間で工夫しながら落ち着ける空間を作っている。		
54	20	○居心地よく過ごせる居室の配慮  居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている。	実際に自宅へ行かせていただき、間取りや配置を知りそれに近づくこと、本人の大切にされているものを持ち込んでいただき、その人が過ごしやすい居室づくりを心掛けている。	畳で過ごされていた利用者の部屋には畳を敷く、クッションの置き場に困っている部屋には部屋のスペースに合わせた手作りの棚を置くなど、利用者が快適に過ごせる居室づくりに取り組んでいる。	
55		○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり  建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している。	家事やミシンなど、その方の得意なことを当たり前に行えるように支援している。また、その人ができることを職員が信じることで、その方のできることが増やせるようにしている。		

V アウトカム項目( 南 ) ← 左記( )内へユニット名を記入願います		
56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。	○ ①ほぼ全ての利用者の ②利用者の3分の2くらいの ③利用者の3分の1くらいの ④ほとんど掴んでいない
57	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある	○ ①毎日ある ②数日に1回程度ある ③たまにある ④ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている	○ ①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている	○ ①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
60	利用者は、戸外への行きたいところへ出かけている	○ ①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている	○ ①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている	○ ①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています	○ ①ほぼ全ての家族と ②家族の3分の2くらいと ③家族の3分の1くらいと ④ほとんどできていない

64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている	○	<input type="radio"/> ①ほぼ毎日のように <input type="radio"/> ②数日に1回程度 <input type="radio"/> ③たまに <input type="radio"/> ④ほとんどない
65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係やとのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている	○	<input type="radio"/> ①大いに増えている <input type="radio"/> ②少しずつ増えている <input type="radio"/> ③あまり増えていない <input type="radio"/> ④全くいない
66	職員は、生き活きと働けている	○	<input type="radio"/> ①ほぼ全ての職員が <input type="radio"/> ②職員の3分の2くらいが <input type="radio"/> ③職員の3分の1くらいが <input type="radio"/> ④ほとんどいない
67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	○	<input type="radio"/> ①ほぼ全ての利用者が <input type="radio"/> ②利用者の3分の2くらいが <input type="radio"/> ③利用者の3分の1くらいが <input type="radio"/> ④ほとんどいない
68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	○	<input type="radio"/> ①ほぼ全ての家族等が <input type="radio"/> ②家族等の3分の2くらいが <input type="radio"/> ③家族等の3分の1くらいが <input type="radio"/> ④ほとんどできていない

自己評価	外部評価	項目(北 ユニット) 上記項目欄の( )内へユニット名を記入願います	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
I 理念に基づく運営					
1	1	○理念の共有と実践  地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている。	全従業員に理念の冊子を配布。 毎朝、朝礼にて唱和し共有している。		
2	2	○事業所と地域とのつきあい  利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している。	地域の清掃、見守り隊などの活動へ参加している。 地域の行事に参加している。		
3		○事業所の力を活かした地域貢献  事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている。	運営推進会議での話し合い。 子ども会との交流イベントを開催し、利用者と交流している。 子供110番の家になり子供の安全、保護できる環境にある。		
4	3	○運営推進会議を活かした取組み  運営推進会議では、利用者やサービスの実績、評価への取組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている。	2か月に1回開催し、情報共有を行っている。 入居状況、活動状況報告、身体拘束廃止委員会、施設、活動に関する意見など、意見交換も行う。		
5	4	○市町との連携  市町担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実績やケアサービスの取組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取組んでいる。	苦情などの情報に対しての報告を行っている。 運営についての相談も担当者と随時行っている。		

自己評価	外部評価	項目(北 ユニット) 上記項目欄の( )内へユニット名を記入願います	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
6	5	○身体拘束をしないケアの実践  代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる。	本人の身体と心の制限を行わないことを徹底し、玄関の施錠はもとより、薬による心の制限も行わないよう取り組んでいる。 身体拘束について講義を受けている。 身体拘束についてはカンファレンスを重ね、色々な方法を試し最終的に身体拘束に頼らざるを得ないとなった場合、同意書の作成、医療機関との連携、市役所への報告、毎日の記録にて実施している。		
7		○虐待の防止の徹底  管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている。	定期的に勉強会を行っている(合同勉強会+施設の研修計画によるweb学習)。 委員会を設置し、2か月に1回は検討を行っている。		
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用  管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している。	施設の研修計画によるweb学習を職員の経験に応じて実施している。 また、必要に応じて外部研修へ参加している。		
9		契約に関する説明と納得  契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている。	十分に説明し、納得していただけるように努めている。		
10	6	○運営に関する利用者、家族等意見の反映  利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている。	担当者から日ごろの様子を書面や電話で伝え、利用者と家族の思いを共有できるよう努めている。		

自己評価	外部評価	項目(北 ユニット) 上記項目欄の( )内へユニット名を記入願います	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
11	7	○運営に関する職員意見の反映  代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている。	定期的にミーティングを行い、話し合う場を設けている。 不定期で個別面談の機会を持っている。		
12		○就業環境の整備  代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている。	個人個人との面談の場や、頑張っている人が評価される仕組みづくりを行っている。 あしたのクラウドを利用し、目に見える形で評価される仕組み作りを行っている。		
13		○職員を育てる取組み  代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている。	施設の研修計画による定期的な研修を経験と役職に応じて実施している。 新人に対する研修を行っている。		
14		○同業者との交流を通じた向上  代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取組みをしている。	職能団体への入会を推奨し(資格手当増額)、開催される研修や交流会への参加を促している。		
II 安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
15		○初期に築く本人との信頼関係  サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている。	インテークの段階から要望や思いを聞き、それが実現できるように努めている。		

自己評価	外部評価	項目(北 ユニット) 上記項目欄の( )内へユニット名を記入願います	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
16		○初期に築く家族等との信頼関係  サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている。	入居相談の段階から思いや要望を聞きながら信頼関係づくりに努めている。		
17		○初期対応の見極めと支援  サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている。	入居相談を受けている段階で、他のサービス等を利用することで在宅生活が行えそうであれば提案している。(入居後も同様)。		
18		○本人と共に過ごし支えあう関係  職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている。	人と人として学びあいながらお互いが成長できる関係を築けるように努めている。		
19		○本人を共に支えあう家族との関係  職員は、家族を支援される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている。	家族とも情報共有し、時には食卓を囲んだり、一緒に出掛けたり、共に支えあっている関係性を目指している。		
20	8	○馴染みの人や場との関係継続の支援  本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている。	友人や馴染みの人に会いに行くなど、それまでの関係が当たり前につながるような活動を行っている。		

自己評価	外部評価	項目(北 ユニット) 上記項目欄の( )内へユニット名を記入願います	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
21		○利用者同士の関係の支援  利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている。	日々の暮らしの中でその人にとっての役割を持って生活をしながらお互いさまの関係が築けるように努めている。		
22		○関係を断ち切らない取組み  サービス利用(契約)が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている。	他施設へ住み替えた方と交流をするなど、積み上げた関係性が継続できるよう努めている。		
Ⅲ その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
23	9	○思いやりや意向の把握  一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している。	その人のこだわりや大切にしていることなどを本人や家族友人から聞くことで、思いや意向をしっかりと把握するように努めている。		
24		○これまでの暮らしの把握  一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている。	利用者の年表作成や自宅訪問を行い、その人の生活の把握に努めている。		
25		○暮らしの現状の把握  一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている。	日々の暮らしの中でその人にとっての役割や過ごし方、落ち着ける居場所の把握に努めている。		

自己評価	外部評価	項目(北 ユニット) 上記項目欄の( )内へユニット名を記入願います	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
26	10	<p>○チームでつくる介護計画とモニタリング</p> <p>本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している。</p>	<p>管理者、計画作成者、職員、家族、本人と話し合いを行っている。</p>		
27		<p>○個別の記録と実践への反映</p> <p>日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている。</p>	<p>体調などの管理だけでなく、暮らしの中の気づきや本人の思いなども個人記録に記入し、積極的に共有していく仕組みにしている。</p>		
28		<p>○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化</p> <p>本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる。</p>	<p>家族や本人の思いや要望がかなえられるよう、柔軟に対応している。</p>		
29		<p>○地域資源との協働</p> <p>一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している。</p>	<p>町内会行事などに参加している。 地域のグランドゴルフに参加している。 子供会との合同行事を行っている。</p>		
30	11	<p>○かかりつけ医の受診診断</p> <p>受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している。</p>	<p>必要に応じてかかりつけ医に相談し、希望する医療機関への受診を支援している。 家族様に体調について相談し、受診の意向を確認している。 受診後には内容を報告している。</p>		

自己評価	外部評価	項目(北 ユニット) 上記項目欄の( )内へユニット名を記入願います	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
31		○看護職員との協働  介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している。	看護職だけではなく、薬剤師、主治医とも連携し支援している。		
32		○入退院時の医療機関との協働  利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。又は、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	入院先のソーシャルワーカーとの連絡をとり、現状の把握と、(早期退院を望む本人と家族の)思いを共有している。退院前カンファレンスに参加し、退院後にスムーズに元の生活に戻るよう支援している。		
33	12	○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援  重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる。	契約時に説明を行っている。 入居後は本人の状態に応じて、都度家族を交えて要望を確認し、どのように関わっていくか検討している。		
34		○急変や事故発生時の備え  利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている。	本人の思いを理解した上で、応急処置や緊急時の連絡体制の確保を行っている。		
35	13	○災害対策  火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている。	避難訓練を行い、避難方法の検討を行っている。		

自己評価	外部評価	項目(北 ユニット) 上記項目欄の( )内へユニット名を記入願います	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
IV その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
36	14	○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保  一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている。	一人一人の歩まれてきた人生を知り、その方を知っていくことを大事にし、職員とその方との信頼関係も考えた声掛けを行っている。		
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援  日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている。	その人が行きたい場所、やりたいことを必ず叶えること、その中で次に繋がる希望や思いを言っていただけるように対応している。		
38		○日々のその人らしい暮らし  職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している。	その人にとっての当たり前の生活を把握するため、年表作成や実際に自宅に行き生活空間を把握しそれに近づけていくような取り組みをしている。		
39		○身だしなみやおしゃれの支援  その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している。	馴染みの店やお気に入りのファッションを聞きとり、実際に買い物に行ったりする中でこだわりなどを知ることができるようにしている。 美容室などは(密にならないように)できるだけ馴染みの店に行くようにしている。 訪問理美容サービスを利用している。		
40	15	○食事を楽しむことのできる支援  食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている。	利用者主体で食事作りを行い、各家庭の味付けを教えてもらったり、得意料理を作るなどの取り組みを行っている。 個人個人に合った役割で参加して頂いている。		

自己評価	外部評価	項目(北 ユニット) 上記項目欄の( )内へユニット名を記入願います	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
41		○栄養摂取や水分確保の支援  食べる量や栄養バランス, 水分量が一日を通じて確保できるよう, 一人ひとりの状態や力, 習慣に応じた支援をしている。	水分量や食事量の把握はもちろんだが, その日の心身の状態やその方の今までの食事習慣を大事にし, 食べたいもの, 飲みたいものを用意するようにしている。		
42		○口腔内の清潔保持  口の中の汚れや臭いが生じないよう, 毎食後, 一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている。	毎食後, その日の本人の気持ちや状態によって臨機応変に対応している。 訪問歯科を利用し, 定期的に口腔内ケアや治療を行っている。		
43	16	○排泄の自立支援  排泄の失敗やおむつの使用を減らし, 一人ひとりの力や排泄のパターン, 習慣を活かして, トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている。	どんな方でもトイレで気持ちよく排泄ができるよう, 排泄パターンやシグナルを把握し, その方の行きたいタイミングでトイレに行けるよう取り組んでいる。		
44		○便秘の予防と対応  便秘の原因や及ぼす影響を理解し, 飲食物の工夫や運動への働きかけ等, 個々に応じた予防に取り組んでいる。	安易に薬に頼らず, 自然排便ができるよう食事メニューの検討や個別での対応を行っている。		
45	17	○入浴を楽しむことができる支援  一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように, 職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに, 個々に応じた入浴の支援をしている。	本人の入りたいタイミングで気持ちよく入っていただけるように, 入る日や回数を固定せず, 本人に希望を聞きながら入浴している。		

自己評価	外部評価	項目(北 ユニット) 上記項目欄の( )内へユニット名を記入願います	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
46		○安眠や休息の支援  一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している。	その方の体調や気分によって休んでいただいている。その方が寝たいタイミングで寝られるよう、職員目線で誘導しないようマニュアルや研修で周知している。		
47		○服薬支援  一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている。	薬の目的や副作用はもちろん、その都度、家族、本人、主治医、薬剤師と相談し変更や中止をしている。		
48		○役割、楽しみごとの支援  張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている。	その方のことを深く知り、その中で特技や好きなことを自信をもってやっていただけるよう取り組んでいる。		
49	18	○日常的な外出支援  一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している。	いつでも外に出られるよう、原則玄関のカギはしていない。本人の気持ちを大切に、出たいときに外に出られるようにしている。		
50		○お金の所持や使うことの支援  職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している。	個人の買い物の際、自身で行いたい方は支払いをご自身でできるようにしている。		

自己評価	外部評価	項目(北 ユニット) 上記項目欄の( )内へユニット名を記入願います	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
51		○電話や手紙の支援  家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている。	電話はいつでもできるよう対応している。 手紙を書きたい希望があれば、便箋を一緒に買いに行くところから行っている。		
52	19	○居心地の良い共用空間づくり  共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激（音、光、色、広さ、温度など）がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている。	毎日清掃を行い、その都度環境を確認し落ち着ける環境作りに務めている。 使い易いようにソファなどレイアウトを変更している。 玄関に季節の花を飾ったり、庭に季節の花を植えたりして、花を摘みに行ったりしている。		
53		○共用空間における一人ひとりの居場所づくり  共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている。	趣味部屋や和室、畑や花壇など様々な居場所があり、思い思いに過ごせるようにしている。 一人一人の落ち着ける空間、暗い場所や明るい場所、狭い場所や広い場所等職員間で工夫しながら落ち着ける空間を作っている。		
54	20	○居心地よく過ごせる居室の配慮  居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている。	実際に自宅へ行かせていただき、間取りや配置を知りそれに近づくこと、本人の大切にされているものを持ち込んでいただき、その人が過ごしやすい居室づくりを心掛けている。		
55		○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり  建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している。	家事やミシンなど、その方の得意なことを当たり前に行えるように支援している。また、その人ができることを職員が信じることで、その方のできることが増やせるようにしている。		

V アウトカム項目( 北 ) ← 左記( )内へユニット名を記入願います			
56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。	○	①ほぼ全ての利用者の ②利用者の3分の2くらいの ③利用者の3分の1くらいの ④ほとんど掴んでいない
57	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある	○	①毎日ある ②数日に1回程度ある ③たまにある ④ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている	○	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている	○	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
60	利用者は、戸外への行きたいところへ出かけている	○	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている	○	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている	○	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています	○	①ほぼ全ての家族と ②家族の3分の2くらいと ③家族の3分の1くらいと ④ほとんどできていない

64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている	○	<input type="radio"/> ①ほぼ毎日のように <input type="radio"/> ②数日に1回程度 <input type="radio"/> ③たまに <input type="radio"/> ④ほとんどない
65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係やとのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている	○	<input type="radio"/> ①大いに増えている <input type="radio"/> ②少しずつ増えている <input type="radio"/> ③あまり増えていない <input type="radio"/> ④全くいない
66	職員は、生き生きと働けている	○	<input type="radio"/> ①ほぼ全ての職員が <input type="radio"/> ②職員の3分の2くらいが <input type="radio"/> ③職員の3分の1くらいが <input type="radio"/> ④ほとんどいない
67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	○	<input type="radio"/> ①ほぼ全ての利用者が <input type="radio"/> ②利用者の3分の2くらいが <input type="radio"/> ③利用者の3分の1くらいが <input type="radio"/> ④ほとんどいない
68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	○	<input type="radio"/> ①ほぼ全ての家族等が <input type="radio"/> ②家族等の3分の2くらいが <input type="radio"/> ③家族等の3分の1くらいが <input type="radio"/> ④ほとんどできていない

## 2 目標達成計画

事業所名 ふれあいの家

作成日 令和 7 年 5 月 3日

### 【目標達成計画】

優先順位	項目番号	現状における問題点, 課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	35	火災発生時の支援について、地域への協力依頼が出来ていない。	避難場所の確保や、避難時の協力体制を地域と連携して対応していく。	運営推進会議で、町内会長の方へ町内の協力をお願いする。近隣の方には、直接、災害時の避難経路や避難場所についての協力をお願いする。	1ヶ月
2					
3					
4					
5					
6					
7					

注1) 項目番号欄には、自己評価項目の番号を記入すること。

注2) 項目数が足りない場合は、行を追加すること。